

沼津市文化財調査報告書 第122集

沼津市内遺跡発掘調査報告書 3

平成30年度
試掘・確認調査
西沢田子ノ神遺跡他
史跡内容確認調査
興国寺城跡

2021

沼津市教育委員会

例　言

1 本書は、沼津市が平成30年度に国庫補助金等を得て市内遺跡発掘調査等事業として実施した試掘・確認調査の報告書である。

調査箇所名については、調査当時の埋蔵文化財包蔵地範囲に準拠して呼称している。

2 平成30年度の試掘・確認調査は、沼津市教育委員会事務局文化振興課が担当し、文化庁より国宝重要文化財等保存整備費補助金、静岡県より静岡県文化財保存費補助金を得て実施した。

3 本書に係る資料整理は、令和2年度の文化庁補助金（国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金）、静岡県文化財保存費補助金を得て実施した。

4 事業関係者は以下のとおりである。

平成30年度

| | | | |
|-------|--------------------------------|--------------|-------|
| 事業主体者 | 沼津市教育委員会 | 教育長 | 服部裕美子 |
| | 沼津市教育委員会事務局 | 教育次長 | 芹澤一男 |
| 事業担当者 | 文化振興課 | 課長 | 原将史 |
| | | 課長補佐 | 杉山好永 |
| | | 課長補佐兼文化財調査係長 | 鶴田晴徳 |
| 調査担当者 | 門池小学校 | 学芸員 | 谷口哲也 |
| | 史跡内内容確認調査（興國寺城跡） | 副担当者 | 木村聰 |
| | 市道5311号線道路改良事業 | 指導主事 | 前嶋秀張 |
| | 市道0204号線道路改良事業 | 指導主事 | 前嶋秀張 |
| | 市道2693号線道路築造工事 | 指導主事 | 前嶋秀張 |
| | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 | 指導主事 | 前嶋秀張 |
| | 個人住宅新築工事に伴う確認調査（西沢田子ノ神遺跡） | 指導主事 | 前嶋秀張 |

令和2年度

| | | | |
|-------|-------------|----------|-----------|
| 事業主体者 | 沼津市教育委員会 | 教育長 | 奥村篤 |
| | 沼津市教育委員会事務局 | 教育次長 | 芹澤一男 |
| 事業担当者 | 文化振興課 | 課長 | 森剛彦 |
| | | 課長補佐 | 鶴田晴徳・杉山好永 |
| | | 文化財調査係長 | 小崎晋 |
| 整理担当者 | | 学芸員 | 谷口哲也 |
| | | 会計年度任用職員 | 前嶋秀張・矢田晃代 |

5 資料整理の実務は、沼津市文化財センターで実施し、本書の執筆・編集は前嶋・谷口・矢田が担当した。

6 本書に係わる発掘調査の記録類及び出土遺物は、沼津市教育委員会事務局文化振興課（沼津市文化財センター 〒 410-0106 沼津市志下 530）で保管している。

凡 例

- 1 方位は国家座標の真北方位で、座標値は世界測地系に準拠している。標高は、東京湾の平均海面を基準とした海拔高である。
- 2 実測図の縮尺は各図に表示するとともに、出土遺物の実測図については土器 1/3 を基本とした。
- 3 土層・土器胎土の色調・記号は、『新版 標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局・（財）日本色彩研究所に基づいて記載し、計測は土色計（SCR-1 第一合成株式会社製）を用いた。
- 4 本書内の略号は以下のとおりである。
TP：試掘坑 TR：試掘溝 SD：溝状遺構 HD：方形周溝墓 PT：小穴 YL：休場層
SC I：第Ⅰスコリア層 BB I：第Ⅰ黒色帶 NL：ニセローム層（ATを含む） BB II：第Ⅱ黒色帶
- 5 遺物観察表における推定値・復元値・残存値には（ ）を付して表記した。

目 次

例言

凡例

第Ⅰ章 調査概要

| | |
|----------|---|
| 第1節 調査概要 | 1 |
|----------|---|

第Ⅱ章 平成30年度の調査

| | |
|---|----|
| 第1節 門池小学校校舎増築工事に伴う試掘調査 | 3 |
| 第2節 史跡内内容確認調査（興国寺城跡） | 4 |
| 第3節 市道5311号線道路改良事業に伴う試掘調査 | 10 |
| 第4節 市道0204号線道路改良事業に伴う試掘調査 | 11 |
| 第5節 市道2693号線道路築造工事に伴う試掘調査 | 12 |
| 第6節 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線に伴う試掘調査 | 13 |
| 第7節 個人住宅新築工事に伴う確認調査（西沢田子ノ神遺跡） | 16 |

写真図版

報告書抄録

挿図目次

| | |
|---|----|
| 第1図 調査地位置図 | 2 |
| 第2図 門池小学校調査地位置図 | 3 |
| 第3図 門池小学校試掘坑配置図・柱状図 | 3 |
| 第4図 興国寺城跡調査地位置図 | 4 |
| 第5図 興国寺城跡北曲輪試掘溝配置図 | 4 |
| 第6図 興国寺城跡北曲輪試掘溝造成面1平面図・断面図 | 5 |
| 第7図 興国寺城跡北曲輪試掘溝空堀3平面図・断面図 | 6 |
| 第8図 興国寺城跡北曲輪遺構構配図・遺物分布図 | 7 |
| 第9図 興国寺城跡北曲輪小穴平面図・断面図 | 8 |
| 第10図 興国寺城跡出土遺物実測図 | 9 |
| 第11図 市道5311号線道路改良事業地内調査地位置図 | 10 |
| 第12図 市道5311号線道路改良事業地内試掘坑配置図・柱状図 | 10 |
| 第13図 市道0204号線道路改良事業地内調査地位置図 | 11 |
| 第14図 市道0204号線道路改良事業地内試掘坑配置図・柱状図 | 11 |
| 第15図 市道2693号線道路築造工事地内調査地位置図 | 12 |
| 第16図 市道2693号線道路築造工事地内試掘坑配置図・柱状図 | 12 |
| 第17図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線調査地位置図 | 13 |
| 第18図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線試掘溝柱状図 | 13 |
| 第19図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線試掘溝配置図 | 14 |
| 第20図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 試掘溝17・試掘溝20平面図・断面図 | 15 |
| 第21図 個人住宅新築工事に伴う確認調査地位置図 | 16 |

| | | |
|------|------------------------------------|----|
| 第22図 | 個人住宅新築工事に伴う確認調査試掘溝配置図 | 16 |
| 第23図 | 個人住宅新築工事に伴う確認調査試掘溝1・試掘溝2平面図・断面図・写真 | 17 |

挿表目次

| | | |
|-----|--------------|---|
| 第1表 | 調査地一覧表 | 2 |
| 第2表 | 興国寺城跡出土遺物観察表 | 9 |

写真図版目次

| | | |
|-------|---|--|
| PL.1 | 門池小学校 調査前（南より） | |
| | 門池小学校 試掘坑1重機掘削 | |
| | 門池小学校 試掘坑1（東より） | |
| PL.2 | 興国寺城跡 平成30年度北曲輪試掘溝重機掘削 | |
| | 興国寺城跡 平成30年度北曲輪試掘溝人力掘削 | |
| | 興国寺城跡 平成30年度北曲輪試掘溝（北より） | |
| PL.3 | 興国寺城跡 平成30年度北曲輪試掘溝土層断面（投影写真） | |
| | 興国寺城跡 平成30年度北曲輪試掘溝かわらけ出土状況（西より） | |
| | 興国寺城跡 平成30年度北曲輪試掘溝小穴（PT140）かわらけ出土状況 | |
| PL.4 | 興国寺城跡 平成30年度北曲輪試掘溝小穴（PT141）検出状況 | |
| | 興国寺城跡 平成30年度北曲輪試掘溝小穴（PT142）検出状況 | |
| | 興国寺城跡 平成30年度北曲輪試掘溝埋め戻し状況 | |
| PL.5 | 興国寺城跡 出土遺物 | |
| PL.6 | 市道5311号線道路改良事業地内 調査地（南より） | |
| | 市道5311号線道路改良事業地内 試掘坑1（南より） | |
| | 市道5311号線道路改良事業地内 試掘坑1土層断面（南より） | |
| PL.7 | 市道0204号線道路改良事業地内 調査前（南より） | |
| | 市道0204号線道路改良事業地内 重機掘削 | |
| | 市道0204号線道路改良事業地内 試掘坑3土層断面（西より） | |
| PL.8 | 市道2693号線道路築造工事地内 調査前（南より） | |
| | 市道2693号線道路築造工事地内 重機掘削 | |
| | 市道2693号線道路築造工事地内 試掘坑1（南より） | |
| PL.9 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 重機掘削 | |
| | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 人力掘削 | |
| | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 試掘溝10（南より） | |
| PL.10 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 試掘溝17（南より） | |
| | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 試掘溝17内1号溝（東より） | |
| | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 試掘溝20（南より） | |
| PL.11 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 方形周溝整検出状況（南より） | |
| | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 方形周溝基南側周溝土層断面（西より） | |
| | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線 出土遺物 | |
| PL.12 | 個人住宅新築工事に伴う確認調査 重機掘削 | |
| | 個人住宅新築工事に伴う確認調査 試掘溝1（西より） | |
| | 個人住宅新築工事に伴う確認調査 試掘溝2（東より） | |

第1章 調査概要

第1節 調査概要

平成30年度は、補助事業として史跡整備、大規模開発、個人住宅建築などに伴う試掘・確認調査を合計7カ所で実施した。

1 門池小学校校舎増築工事に伴う試掘調査（岡一色 88-2外）

門池小学校校舎増築工事は、沼津市が計画した公共事業である。対象地の埋蔵文化財の有無を確認する試掘調査を実施した。

2 史跡内容確認調査（興国寺城跡）（根古屋 126-3外）

興国寺城跡の史跡内容確認調査は、平成14年度から継続的に行っている。平成30年度は、平成29年度の調査で空堀内において歓が検出されたことから、障子堀の可能性を検討するために調査を実施した。

3 市道5311号線道路改良事業に伴う試掘調査（江梨 161-1外）

市道5311号線道路改良事業は、沼津市が計画した公共事業である。対象地が周知の埋蔵文化財包蔵地である戦国期の鈴木氏館跡に隣接することから、埋蔵文化財の有無を確認するために試掘調査を実施した。

4 市道0204号線道路改良事業に伴う試掘調査（原 194-9外）

市道0204号線道路改良事業は、沼津市が計画した公共事業である。対象地が周知の埋蔵文化財包蔵地である御殿場北遺跡に隣接することから、埋蔵文化財の有無を確認するために試掘調査を実施した。

5 市道2693号線道路築造工事に伴う試掘調査（原 689-2外）

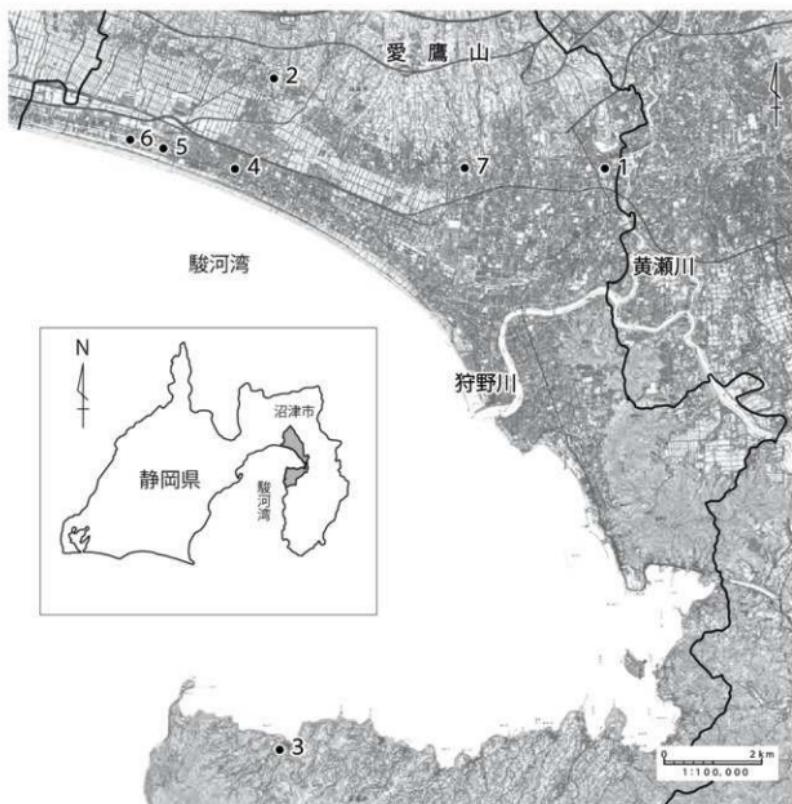
市道2693号線道路築造工事は、沼津市が計画した公共事業である。対象地が周知の埋蔵文化財包蔵地である鳥沢遺跡及び中原遺跡に隣接することから、埋蔵文化財の有無を確認するために試掘調査を実施した。

6 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線に伴う試掘調査（一本松・桃里地内）

東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線は、静岡県沼津土木事務所と沼津市が計画した新貨物ターミナル及び調整池建設のための公共事業である。事業地内の埋蔵文化財の有無を確認するために試掘調査を実施した。

7 個人住宅新築工事に伴う確認調査

当該地は、周知の埋蔵文化財包蔵地である西沢田子ノ神遺跡の範囲内で、かつ沼津市指定史跡である子ノ神古墳に隣接することから、工事に先立ち確認調査を実施した。



第1図 調査地位置図

第1表 調査地一覧表

| 番号 | 調査区分 | 遺跡名・事業名 | 番号 | 調査区分 | 遺跡名・事業名 |
|----|--------|------------------------------|----|------|---------------------------------------|
| 1 | 試掘調査 | 門池小学校校舎増築（同一色 88-2 外） | 5 | 試掘調査 | 市道 2693 号線道路築造工事（原 689-2 外） |
| 2 | 内容確認調査 | 史跡内容確認調査（興國寺城跡） | 6 | 試掘調査 | 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線に伴う試掘調査 |
| 3 | 試掘調査 | 市道 5311 号線道路改良事業（江梨 161-1 外） | 7 | 確認調査 | 個人住宅新築工事に伴う確認調査（西沢田子ノ神遺跡） |
| 4 | 試掘調査 | 市道 0204 号線道路改良事業（原 194-9 外） | | | |

第II章 平成30年度の調査

第1節 門池小学校校舎増築工事に伴う試掘調査

所在地

沼津市岡一色88-2外

調査面積

8 m²

調査期間

平成30年7月25日

調査原因

門池小学校学校校舎の増築

調査の概要

対象地に試掘坑を2か所設定して調査した。



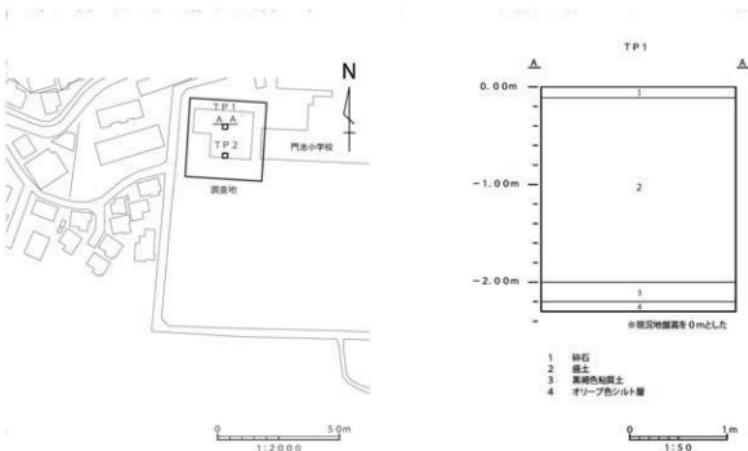
第2図 門池小学校調査地位置図

調査の結果

試掘坑1と試掘坑2を現地盤から-2.3mまで調査したが遺構と遺物は確認されなかった。

土層堆積は試掘坑1 土層図を標準土層として検討した結果、第1層碎石は旧校舎解体時の碎石、第2層盛土は門池小学校建設時の盛土、第3層黒褐色粘質土層は水田耕作土、第4層オリーブ色シルト層と下位の砂礫層が黄瀬川扇状地堆積物であると判断される。

これらの土層について、第4層は縄文時代後期から弥生時代中期までに堆積した黄瀬川扇状地堆積物である。その上位からは弥生時代中期以降の遺構と遺物が出土することが周辺の調査で確認されている。本調査で確認された第3層はグライ化しており、当該地で水田耕作を始めた近世以降の堆積と考えられる。



第3図 門池小学校試掘坑配置図・柱状図

第2節 史跡内容確認調査（興国寺城跡）

所在地

沼津市根古屋字赤池 126-3 外

調査面積

100m²

調査期間

平成30年8月1日～平成30年9月30日

調査原因

史跡整備

調査の概要（第4図・第5図）

平成30年度は、前年度に北曲輪の西側で歓堀を検出したことから、障子堀の可能性を検討するために一部堀底まで調査し、空堀3と堀を埋めた北曲輪の造成面を確認した。

調査の結果

遺構（第6図・第7図・第8図・第9図）

地山を掘り込んだ空堀3を検出し、北曲輪の造成面から小穴4基（PT140からPT143）を確認した。

空堀3

空堀3で確認された西側の歓から東側に約8mの範囲を調査した。新たな歓が確認されなかったことから障子堀である可能性は低いものと判断される。

検出した堀の規模は、幅（推定）3.0m、堀底の幅（推定）1.5m、検出面から堀底までの深さ3.0m、堀の法面は堀底から60°の角度で立ち上がり、断面形が逆台形を呈すると考えられる。

覆土は堀底の自然堆積（第42層から第47層）と北曲輪造成に伴う盛土（第26層から第41層）



第4図 興国寺城跡調査地位置図

に分かれていた。

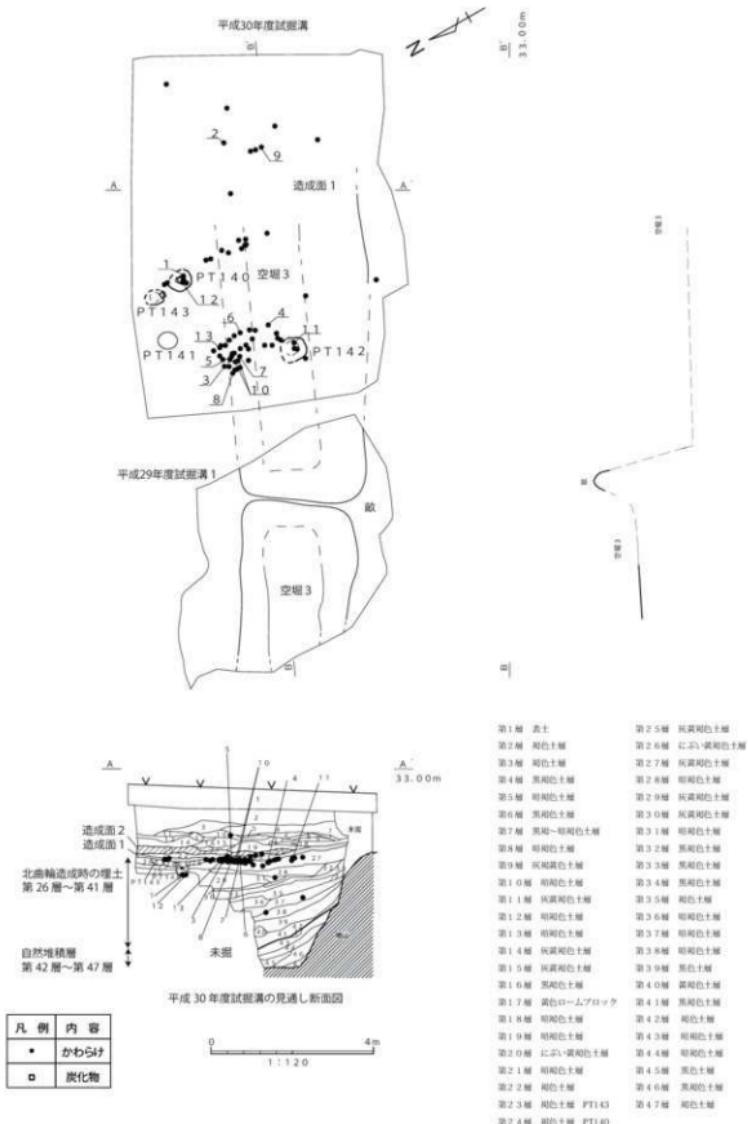
小穴

小穴は4基を確認した。平面形態はほぼ円形を呈する。直径は0.44mから0.56m、深さは0.4m前後である。この小穴は2019『史跡興国寺城跡調査報告書・発掘調査報告編-』で焼土坑（FP）01～04と記載していたが、遺構の形状と覆土を検討し小穴（PT）140～143として報告する。

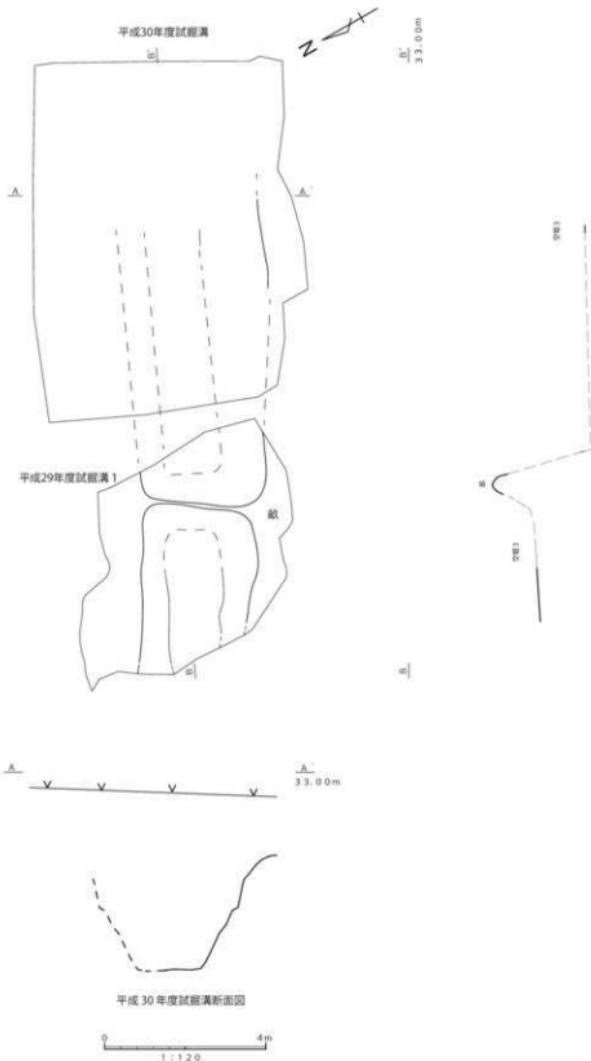
覆土は小穴140と小穴142が側壁から底面にかけて粘土が残り、かわらけ・焼土・炭化物等が混じる覆土によって埋没している。PT141は平面プランを検出したが掘り込みの確認が困難であった。配列については規則性が認められなかった。



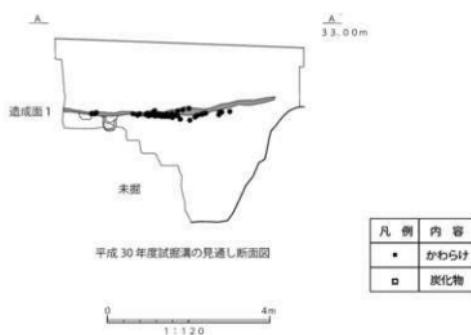
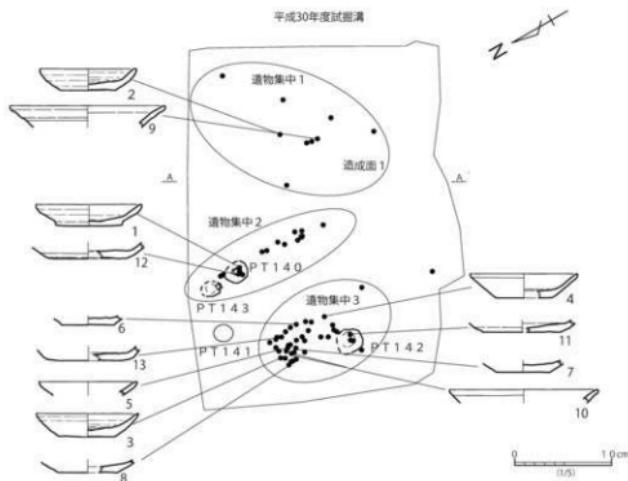
第5図 興国寺城跡北曲輪試掘溝配置図



第6図 興國寺城跡北曲輪試掘溝造成面1平面図・断面図



第7図 興國寺城跡北曲輪試掘溝空堀3平面図・断面図



第8図 興國寺跡北曲輪遺構配置図・遺物分布図



第9図 興國寺城跡北曲輪小穴平面図・断面図

遺物集中箇所

遺物出土状況は、かわらけが長軸2.8m、短軸1.8mから0.4mの範囲に集中して出土した。遺物集中1はかわらけが単独で集中しているが、遺物集中2・遺物集中3は小穴の分布と重なっている。かわらけの器種は皿で、復元した口径が約10cm、底部径が約6cmの小型と口径が約15cm、底部径が約8cmの大型の組み合わせが認められた。

出土遺物（第10図）

遺物はかわらけが25点出土しており、反転復元が可能な13点を図示した。器種は皿で、ロクロ整形、水引調整、糸切り痕が観察できる。口径や底部径の違いによりA類（1～8）とB類（9～13）に分類した。

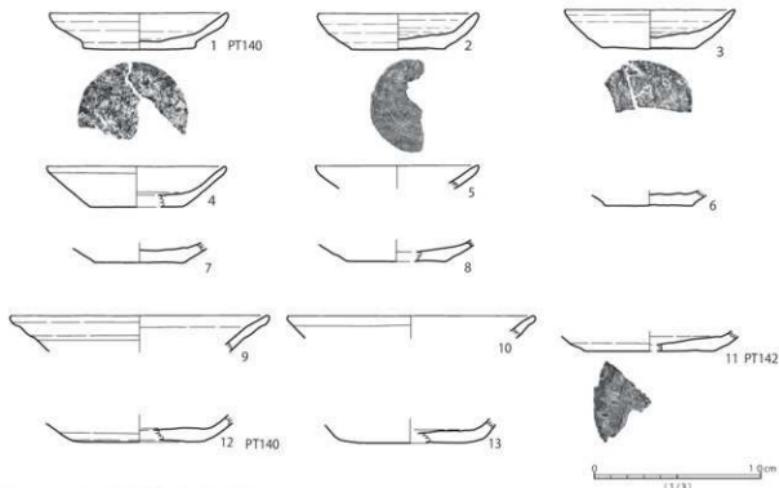
A類（口径が約10cm × 底部径約6cm × 器高約2.3cm）

1から4はやや厚みのある底部から体部が緩やかに立ち上がり、口縁部が内湾気味である。底部は糸切り痕が観察できる。5は口縁部の破片、6から8は底部の破片である。

B類（口径が約15cm、底部径が約8cm）

9・10は口縁部の破片である。緩やかに外反しながら口縁部にいたる。11から13は底部の破片である。11は底部に糸切り痕が観察できる。

かわらけの年代については、編年が定まっておらず詳細は不明である。しかし前出の報告書において空堀3の出土遺物は瀬戸美濃大窯製品第2段階を上限とすることが報告されていることから、空堀3は、16世紀中葉以前には埋没していると推定される。今回報告するかわらけは空堀3埋没後の造成面1からの出土であり、またその上面には曲輪の最終段階（17世紀初頭）と推測される造成面2が認められる。このことから判断するに、これらのかわらけは16世紀中葉以後17世紀初頭以前の間に位置付けられる。



第10図 興國寺城跡出土遺物実測図

第2表 興國寺城跡出土遺物観察表

| 番号 番号 | 出土 地点 | 遺種 番号 | 器種 | 口径 直径 横径 | 胎土 | 構成 | 色調 | 残存 | 備考 | 番号 番号 | 出土 地点 | 遺種 番号 | 器種 | 口径 直径 横径 | 胎土 | 構成 | 色調 | 残存 | 備考 |
|-----------|----------|----------|------|-----------------------|----|----|--------------|-----------|----------|------------|----------|----------|------|----------------|----|----|--------------|-----|----------|
| 第10図 1 | 北曲輪 | PT140 | かわらけ | (10.0) 22 (8.0) | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 口縁部 通部 | 底部・外切端あり | 第10図 8 | 北曲輪 | - | かわらけ | - | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 底部 | |
| 第10図 2 | 北曲輪 | - | かわらけ | (9.7) 22 (5.7) | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 口縁部 通部 | 底部・外切端あり | 第10図 9 | 北曲輪 | - | かわらけ | (15.0) - | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 口縫部 | |
| 第10図 3 | 北曲輪 | - | かわらけ | (10.4) 24 (5.7) | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 口縁部 通部 | 底部・外切端あり | 第10図 10 | 北曲輪 | - | かわらけ | (15.0) - | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 口縫部 | |
| 第10図 4 | 北曲輪 | - | かわらけ | (10.0) 24 (5.6) | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 口縁部 通部 | | 第10図 11 | 北曲輪 | PT142 | かわらけ | - | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 底部 | 底部・外切端あり |
| 第10図 5 | 北曲輪 | - | かわらけ | (10.0) - | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 口縁部 | | 第10図 12 | 北曲輪 | PT140 | かわらけ | (8.0) - | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 底部 | |
| 第10図 6 | 北曲輪 | - | かわらけ | - | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 通部 | | 第10図 13 | 北曲輪 | - | かわらけ | (8.4) - | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 底部 | |
| 第10図 7 | 北曲輪 | - | かわらけ | - | 織密 | 良好 | TSVH-6 褐色 | 通部 | | | | | | | | | | | |

第3節 市道 5311 号線道路改良事業に伴う試掘調査

所在地

沼津市西浦江梨字熊ノ添 161-1 外

調査面積

4 m²

調査期間

平成 30 年 9 月 12 日

調査原因

市道 5311 号線道路改良

調査の概要

試掘調査は事業地内の海藏寺境内に試掘坑 1 を設定し、人力によって掘削を行った。ここは鈴木氏館跡と同様に川の左岸に位置し、周辺部より標高が高い場所である。

調査の結果

地表から -0.2 m まで表土、以下 -0.4 m まで火成岩の巨礫や円礫を多数含む暗褐色砂礫層が堆積していた。調査地点は駿河湾沿岸に分布する第四紀の沖積層で、火山物質の砂礫層で構成されることから、同層に達したと判断した。

遺構と遺物は確認されなかった。



第 11 図 市道 5311 号線道路改良事業地内
調査地位置図



第 12 図 市道 5311 号線道路改良事業地内試掘坑配置図・柱状図

第4節 市道0204号線道路改良事業に伴う試掘調査

所在地

沼津市原字御殿場 194番9外

調査面積

12m²

調査期間

平成30年9月20日

調査原因

市道0204号線道路改良

調査の概要

対象地に試掘坑を3か所設定し、重機及び人力によって掘削した。

調査の結果

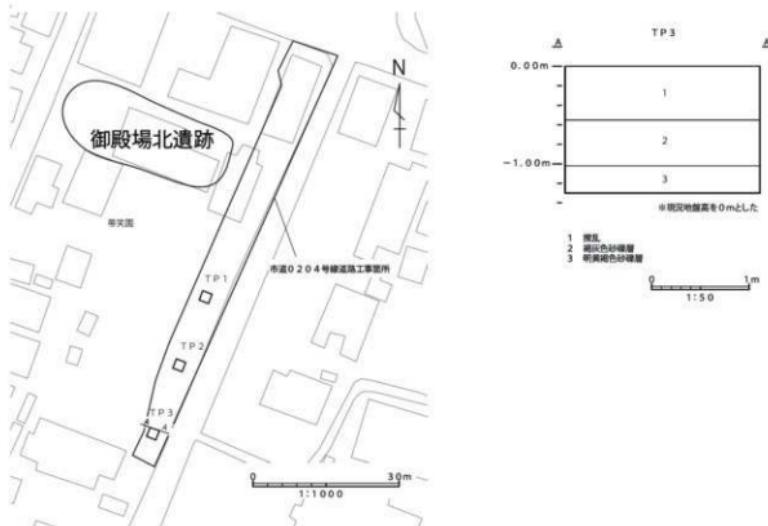
いずれの試掘坑も、地表から-0.5mまでは埋土で、-0.5mから-1.0mまでは褐灰色砂礫層、それ以下は明黄褐色砂礫層となっていた。

当該地は千本砂礫州に位置し、約3200年前のカワゴ平バミスが降灰した後に離水し、腐植土が堆積していることから、腐植土を含む第2層褐灰色砂礫層を調査し、第3層明黄褐色砂礫層を0.3m掘り下げて腐植土を含まない水成堆積層であることを確認した。

縄文時代後期以降に堆積したと考えられる第2層褐灰色砂礫層から遺構と遺物が認められなかつた。



第13図 市道0204号線道路改良事業地内
調査地位置図



第14図 市道0204号線道路改良事業地内試掘坑配置図・柱状図

第 5 節 市道 2693 号線道路築造工事に伴う試掘調査

所在地

沼津市原字鳥澤 689 番 2 外

調査面積

44m²

調査期間

平成 30 年 9 月 26 日～平成 30 年 9 月 28 日

調査原因

市道 2693 号線道路築造工事

調査の概要

未買収地を除く範囲に試掘坑 11か所を設定し、重機と人力によって掘削した。

調査の結果

試掘調査の結果、遺構と遺物は確認できなかった。

土層堆積状況は試掘坑 1 を標準土層として確認した。地表から -0.2 m まで盛土、 -0.2 m から -0.4 m まで第 1 層表土、 -0.4 m から -0.5 m まで第 2 層黒褐色土層、 -0.5 m から -0.6 m まで第 3 層千本砂礫州砂礫層、 -0.6 m から -0.8 m まで第 4 層黒褐色土層、 -0.8 m から -1.1 m まで第 5 層スコリア層、以下千本砂礫州砂礫層が堆積している。このうち、第 5 層には新期スコリアが混在しており、第 2 層には大淵スコリアが認められる。



第 15 図 市道 2693 号線道路築造工事地内
調査位置図



第 16 図 市道 2693 号線道路築造工事地内試掘坑配置図・柱状図

第6節 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線に伴う 試掘調査

所在地

一本松地内 沼津市一本松 340-1 外
桃里地内 沼津市桃里 270-1 外

調査面積

一本松地内 405m²
桃里地内 612m²

調査期間

一本松地内
平成30年10月1日～平成30年10月19日
桃里地内
平成31年1月8日～平成31年1月31日

調査原因

鉄道施設移転事業

調査の概要

試掘調査はJR東海道本線南側の新貨物ターミナル建設予定地内における埋蔵文化財の有無を確認するため、25か所に試掘溝を設定して調査した。

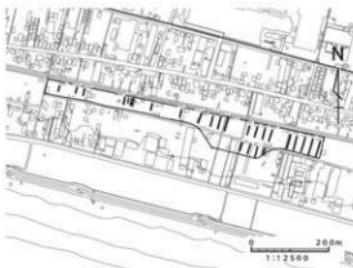
調査の結果

試掘調査の結果、遺構は方形周溝墓(HD1)を1基と溝状遺構を5か所の試掘溝で確認した。遺物は試掘溝19・21・25から土師器が数点出土している。

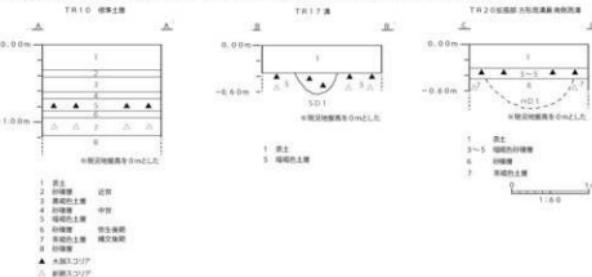
土層は堆積状況が良好な試掘溝10を標準土層とし、溝を検出した試掘溝17と方形周溝墓を検出した試掘溝20の土層堆積を比較検討した。

試掘溝10は地表から-0.3mまで第1層表土、-0.3mから-0.4mまで第2層砂礫層、-0.4mから-0.6mまで第3層黒褐色土層、-0.6mから-0.7mまで第4層砂礫層、-0.7mから-0.8mまで第5層暗褐色土層で大瀬スコリアを含む、-0.8mから-0.9mまで第6層砂礫層、-0.9mから-1.2mまで第7層茶褐色土層で新期スコリアを含む、-1.2m以下は砂礫層が続き、カワゴ平バニスを挟む。

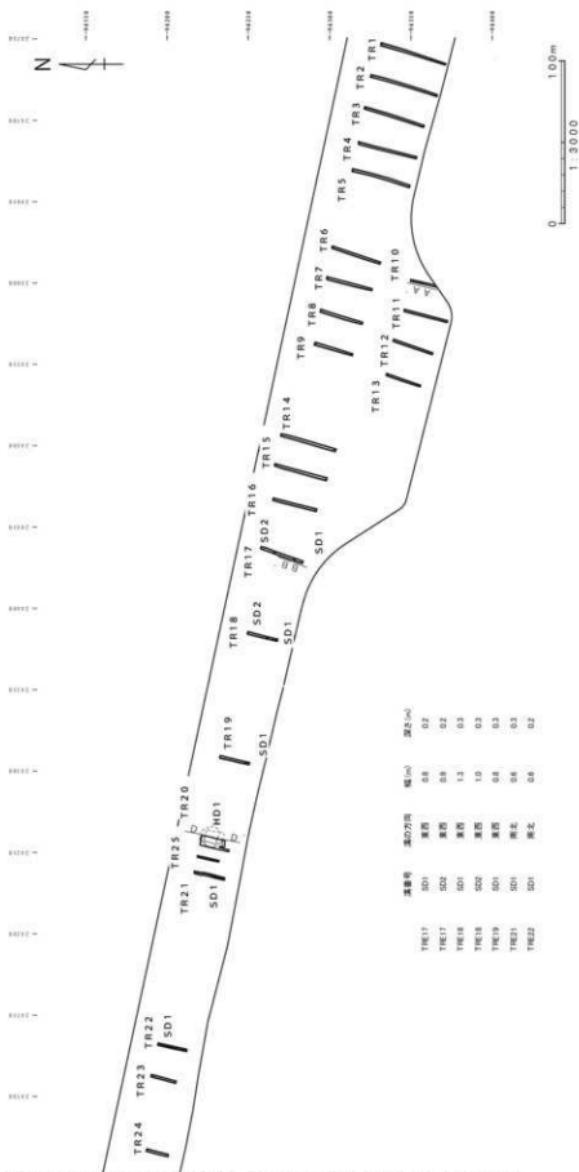
試掘溝17では第5層上面を検出面として溝状遺構が掘り込まれている。溝状遺構の覆土は大瀬スコリアを含む第5層の再堆積である。第4層から第2層は耕作により失われている。



第17図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線調査位置図



第18図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線試掘溝柱状図

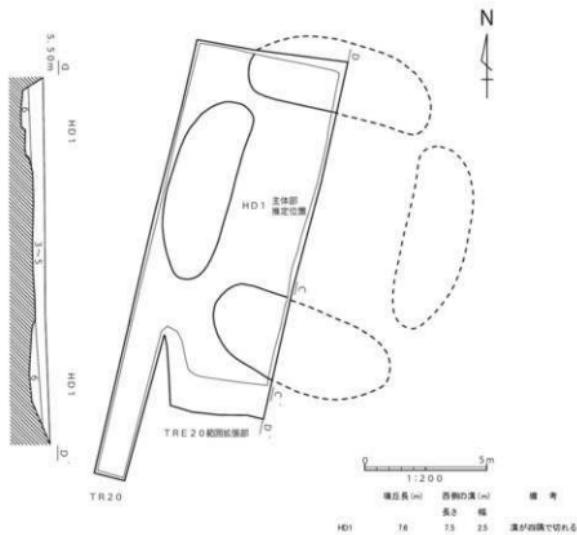
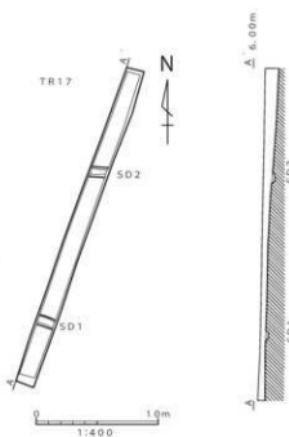


第19図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線試掘溝配置図

試掘溝20は第7層上面で方形周溝墓を検出した。周溝の覆土は第6層砂礫層である。その後、第5層から第3層によって覆われている。

方形周溝墓は、西側・北側・南側の周溝を検出した。平面形態は周溝と周溝の間にブリッジを掘り残している。規模は墳丘長が南北7.6m、西側の溝の長さは7.5m、幅は2.5mであった。年代は、平面形態から弥生時代中期と推定される。

溝状遺構は試掘溝17・18・19・21・22で確認した。いずれも第2層上面で検出した。規模は幅1.3mから0.6m、深さ0.3mから0.2mであった。年代は、遺物が伴わないので明確ではないが、覆土中に大淵スコリアが認められることから、古代の遺構と推測される。遺物は試掘溝19・21・25から土師器が数点出土したもの、すべて遺構外である。小片のため図示できなかったことから写真のみ掲載した(PL.11)。土器の年代は、奈良・平安時代の土師器と推測される。



第20図 東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道事業・東海旅客鉄道東海道本線
試掘溝17・試掘溝20平面図・断面図

第7節 個人住宅新築工事に伴う確認調査（西沢田子ノ神遺跡）

所在地

沼津市西沢田 670-1

調査面積

10m²

調査期間

平成30年11月12日～平成30年11月13日

調査原因

個人住宅新築工事

調査の概要

確認調査は、子ノ神古墳の周溝の存在が想定される位置に試掘溝を設定し、重機及び人力によって掘削した。

調査の結果

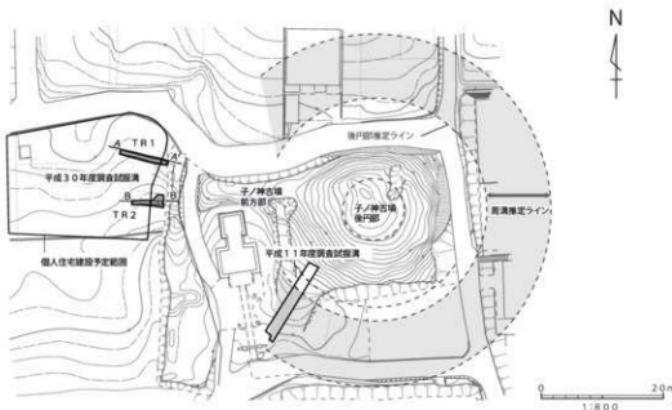
試掘溝1は、1.0m程度掘り下げたところで休場層からニセローム層を検出した。地表から-1mまでは全て盛土であった。

試掘溝2は、0.5m程度掘り下げたところで第Iスコリア層から第II黒色帶を検出した。地表から-0.5mまでは全て盛土であった。

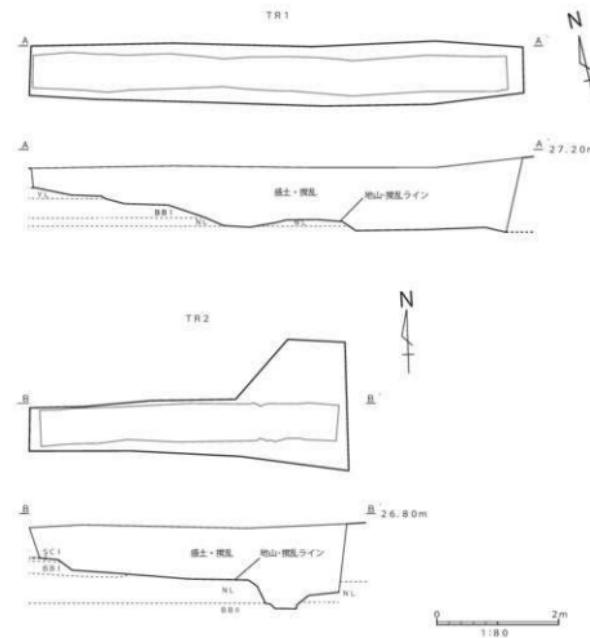
いずれの試掘坑からも遺構・遺物は確認されなかった。



第21図 個人住宅新築工事に伴う確認調査
調査地位置図



第22図 個人住宅新築工事に伴う確認調査試掘溝配置図（山本恵一 2001「子ノ神古墳」に加筆・修正）



第23図 個人住宅新築工事に伴う確認調査試掘溝1・試掘溝2平面図・断面図・写真（平成11年度撮影）

参考文献

山本惠一 2001「子ノ神古墳（沼津市）」「静岡県の前方後円墳 - 個別報告編 -」

静岡県文化財報告書 第55集 静岡県教育委員会

沼津市史編さん委員会・沼津市教育委員会 2002『沼津市史 資料編 考古』

沼津市教育委員会 2016『中原遺跡発掘調査報告書』沼津市文化財調査報告書 第113集

2019『史跡興国寺城跡調査報告書 - 発掘調査報告編 -』

沼津市文化財調査報告書 第119集

写 真 図 版



門池小学校 調査前（南より）



門池小学校
試掘坑 1 重機掘削



門池小学校
試掘坑 1 (東より)



興國寺城跡 平成 30 年度
北曲輪試掘溝重機掘削



興國寺城跡 平成 30 年度
北曲輪試掘溝人力掘削



興國寺城跡 平成 30 年度
北曲輪試掘溝（北より）



興國寺城跡 平成 30 年度
北曲輪試掘溝土層断面
(投影写真)



興國寺城跡 平成 30 年度
北曲輪試掘溝かわらけ出土状況
(西より)



興國寺城跡 平成 30 年度
北曲輪試掘溝小穴 (PT140)
かわらけ出土状況



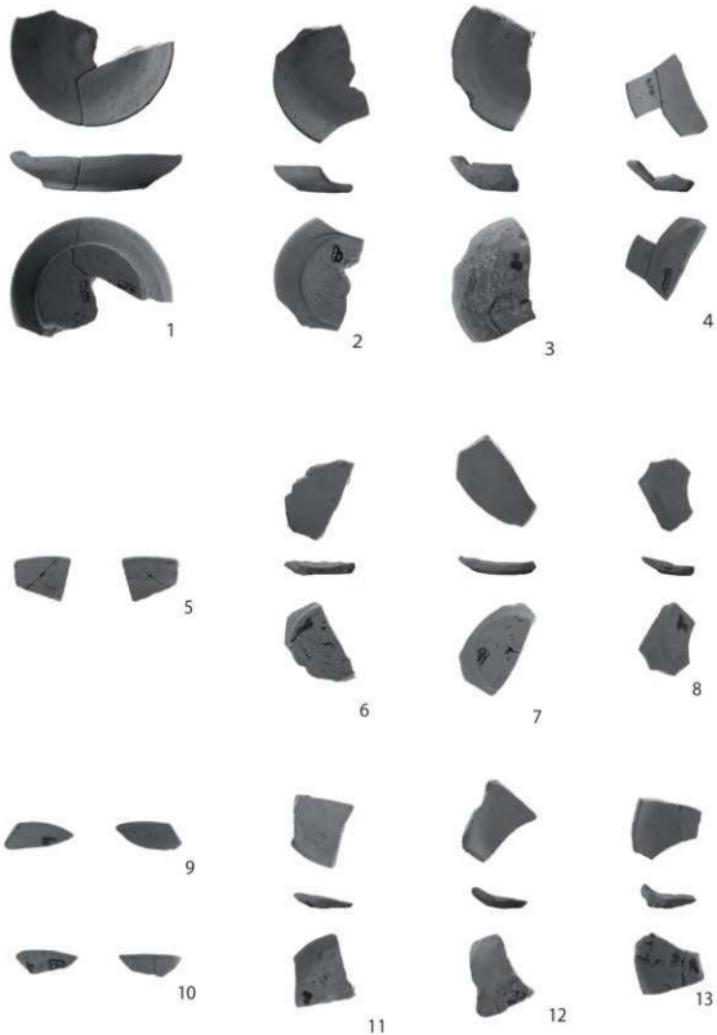
興國寺城跡 平成 30 年度
北曲輪試掘溝小穴 (PT141)
検出状況



興國寺城跡 平成 30 年度
北曲輪試掘溝小穴 (PT142)
検出状況



興國寺城跡 平成 30 年度
北曲輪試掘溝埋め戻し状況





市道 5311 号線道路改良事業地内
調査地（南より）



市道 5311 号線道路改良事業地内
試掘坑 1（南より）



市道 5311 号線道路改良事業地内
試掘坑 1 土層断面（南より）



市道 0204 号線道路改良事業地内
調査前（南より）



市道 0204 号線道路改良事業地内
重機掘削



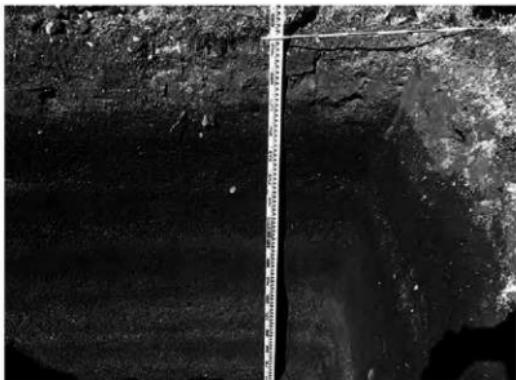
市道 0204 号線道路改良事業地内
試掘坑 3 土層断面（西より）



市道 2693 号線道路築造工事地内
調査前（南より）



市道 2693 号線道路築造工事地内
重機掘削



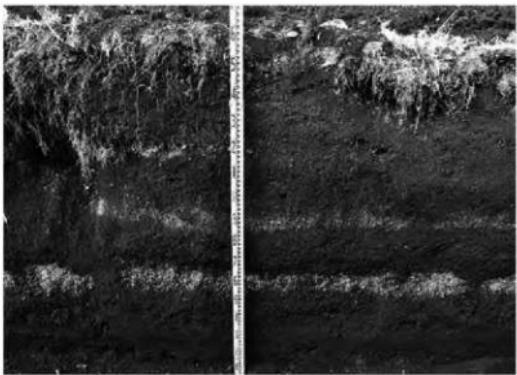
市道 2693 号線道路築造工事地内
試掘坑 1（南より）



東駿河湾広域都市計画都市高速
鉄道事業・東海旅客鉄道東海道
本線 重機掘削



東駿河湾広域都市計画都市高速
鉄道事業・東海旅客鉄道東海道
本線 人力掘削



東駿河湾広域都市計画都市高速
鉄道事業・東海旅客鉄道東海道
本線 試掘溝10（南より）

P.L. 10



東駿河湾広域都市計画都市高速
鉄道事業・東海旅客鉄道東海道
本線 試掘溝 17 (南より)



東駿河湾広域都市計画都市高速
鉄道事業・東海旅客鉄道東海道
本線 試掘溝 17 内 1号溝
(東より)



東駿河湾広域都市計画都市高速
鉄道事業・東海旅客鉄道東海道
本線 試掘溝 20 (南より)



東駿河湾広域都市計画都市高速
鉄道事業・東海旅客鉄道東海道
本線
方形周溝墓検出状況（南より）



東駿河湾広域都市計画都市高速
鉄道事業・東海旅客鉄道東海道
本線
方形周溝墓 南側周溝土層断面
(西より)



東駿河湾広域都市計画都市高速
鉄道事業・東海旅客鉄道東海道
本線 出土遺物



個人住宅新築工事に伴う確認調査
重機掘削



個人住宅新築工事に伴う確認調査
試掘溝1（西より）



個人住宅新築工事に伴う確認調査
試掘溝2（東より）

報告書抄録

| | |
|--------|---|
| ふりがな | ぬまづしないいせきはくつちょうさほうこくしょ |
| 書名 | 沼津市内遺跡発掘調査報告書3 |
| 副書名 | |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | 沼津市文化財調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第 122 集 |
| 編著者名 | 前嶋秀恵 谷口哲也 矢田晃代 |
| 編集機関 | 沼津市教育委員会 |
| 所在地 | 〒 410-8601 静岡県沼津市御幸町 16 番 1 号 TEL055-931-2500 沼津市 |
| 市町村コード | 22203 |
| 発行年月日 | 西暦 2021 年 3 月 26 日 |

沼津市文化財調査報告書 第122集
沼津市内遺跡発掘調査報告書3

令和3年3月19日 印刷
令和3年3月26日 発行

編集／沼津市教育委員会
発行／沼津市教育委員会
沼津市御幸町16番1号
TEL (055) 931-2500㈹
印刷／みどり美術印刷株式会社